

## 地方だより

### 熊本地方気象台

熊本城と加藤清正、これを知らない人はまづいないと思う。文字どおりの城下町として発達した熊本市は、この自動車交通の発達した現在でも道路の屈曲が非常に多い。この屈曲した道路を熊本駅からタクシーで15分熊本城の北方約500メートル京町台の高台に熊本地方気象台がある。明治23年熊本測候所として創立以来70有余年の歴史を持っている。

熊本市の気候はひと口にいて夏暑く、冬寒く、風の弱いところである。35℃以上の日数をみると九州の各地と大差がないが、34℃以上の日数を拾ってみると熊本が



熊本地方気象台（西日本空輸機より）

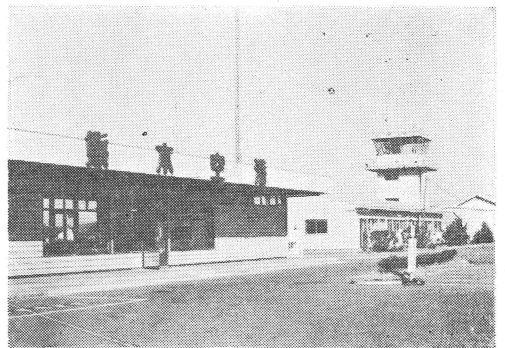
いかに夏暑いかがわかる。この暑さをしのぐためか市内いたる所樹木が非常に多い。森の都といわれるゆえんである。

梅雨期の水害は熊本にとって台風以上におそろしい。規模の差はあれ毎年のように水害に見舞れる。雨量予報、洪水予報は当台にとって大きな課題の1つである。また台風時の有明海の高潮予報も今後に残されている重要な課題である。台員一体となってこれらの問題に取り組んでいる。

長崎—温泉岳—熊本—阿蘇山—別府をむすぶ九州横断観光ルートも年々整備されレクリエーションで当台を訪れる人々も年々増加している。うれしいことの一つである。  
(中川吉雄記)



熊本城



熊本空港